

新緑がまぶしい季節となりましたが、地域の医療機関さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今回の地域医療連携室ニュースは、4月17日に第6回五月山緩和ケア研究会を開催し、地域で行う緩和医療について話し合える場を設けることができました。その時の模様を中心にお伝えします。

【開会の挨拶】

【講演：1】

【講演：2】



柴田理事による開会の挨拶



講演者：厨子医師
『地域医療と治療・療養の場
の選択』について



講演者：メディカルソーシャルワーカー
『地域医療連携室における退院支
援の現状』について



【パネルディスカッション】

【会場の雰囲気】



検討テーマ
『病院から在宅への連
携に求められるもの』

右側から：小山顧問・厨子 Dr・篠木 Dr・
白水 Dr・大江師長・小林主任



多職種のみなさまに参加してい
たきました。参加人数：60人

【アンケート結果】



研究会前にアンケートにご協力いただきまして、
ありがとうございました。回収率：33%
研修会会場にアンケート結果を掲示しました。

【お願い】

登録医の先生方には、地域医療連携にご理解とご協力をいただきありがとうございます。今年度より、診察・検査の予約時に事前に診療情報提供書のFAXをお願いしております。

診察・検査前に患者様の情報収集を行う事で、適切な診療に役立てることを目的に実施させていただいております。今後ともご協力をお願い申し上げます。なお、訪問のスタッフに診療情報提供書をお渡していただいても結構です。